

10 もやの取付け

①(もや)を正面から間柱側に載せてボルト止めします。**1**

②(もや)と屋根をボルト止めします。

使用梱包	一般型 LM5-0525 積雪型 LM5-3525 豪雪型 LO5-3525
使用ボルト数	42本

ワンポイント 屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

注意 (もや)は3本共同形状です。
一番前には「一般型」「積雪型」「豪雪型」のラベルが貼りついている(もや)を取り付けてください。

11 間柱前の取付け

注意 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて相立説明書111214161719を読んでください。

①(間柱固定金具)を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。**1** **2**

②(間柱前)の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。

使用梱包	共通 LM5-0134 Lタイプ LM5-0416 Hタイプ LM5-0417
使用ボルト数	ボルト(スプリングワッシャー)付4本

ワンポイント 上枠前AS、下枠前ASにボルト(スプリングワッシャー付)を間柱固定金具に差し込みます。
※4本共ボルト(スプリングワッシャー付)で固定してください。

右開口の場合 左側の孔に固定します。

12 戸当たりの取付け

①(戸当たり(M))を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。-工程17参照

使用梱包	Lタイプ LM5-0416 Hタイプ LM5-0417
使用ボルト数	3本

右開口の場合 間柱前、開口部側に戸当たり(M)をボルトで固定します。

13 壁パネル・袖壁の取付け

①室内から(壁パネル)・(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)

②柱・間柱にボルト止めします。**1** **2** (開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。-工程14参照)

注意 ボルト固定しないて割れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

ワンポイント ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。
※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

注意 壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生したり隣同士の横受け取付けの角孔が上下方向にずれ場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

1825	LM5-1004	LM5-1021	LM5-1022	LM5-1054
1829H	LM5-1014	LM5-1031	LM5-1032	LM5-1064
1829	LM5-1003	LM5-1005	LM5-1031	LM5-1054
1829H	LM5-1013	LM5-1014	LM5-1031	LM5-1064

壁パネルの取付位置

1825(H)型 1829(H)型

正面 袖壁C

壁パネルの種類

670mm 319.5mm 553mm

壁パネルA 壁パネルB 袖壁C

※壁パネル、袖壁共に上下の区別はありません。

14 柱補強金具の取付け

①(柱補強金具AS)を柱前AS-左(右側開口の場合は柱前AS-右)にボルト止めします。**1**

②壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。

使用梱包	共通 LM5-0134
使用ボルト数	5本

右開口の場合 ※柱前AS-右に取り付けます。

壁固定用ボルト孔をボルトで塞ぐ。(3か所)

15 鼻隠しの取付け

①(鼻隠し前)・(鼻隠し後)を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。

②(鼻隠し後)と屋根をボルト止めします。**1**

使用梱包	共通 LM5-1104
使用ボルト数	11本

鼻隠し後と屋根の固定

鼻隠し前、鼻隠し後、コーナー樹脂、ボルト

ボルト(3か所固定)

壁パネルの中央付近の山が固定位置です。

注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプションイセツ」の相立説明書を先にお読みください。

16 扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)

注意 右開口にする場合は吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

使用梱包	Lタイプ LM5-1704 Hタイプ LM5-1714
使用ボルト数	0本

①扉後から(戸車プレート(右))を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。

②扉後の(扉後隙間隠し)・(扉支持金具)を取り外して扉後の反対側に取付けます。

③扉前の最初に付いていた(戸車プレート(左))を取り外して扉後に取付けます。

バンド小ネジM4×10

扉支持金具、ボルト、戸車プレート(右)、戸車プレート(左)

※戸車プレートは(右)(左)を間違えて取付けると孔が合わないようになっています。

17 扉の吊り込み(1)

①(扉支持材AS)を(扉前)に取付けます。

右開口の場合 扉前、ボルト

扉支持材AS

②(扉後)・(扉前)の順番で吊り込みます。

※上レールの角孔に戸車を差し込む。

右開口の場合 扉前、扉後、ボルト

扉支持材(AS)の取付け方 ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。
ツメを差し込む 扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。

17 扉の吊り込み(2)

扉の吊り込み手順

①扉後の戸車プレート ②アルミレールに載せずに下に落とす。 ③下部を奥に押し当てる。 ④扉後を持ち上げ戸車プレートをアルミレールに載せる。 ⑤扉前も同様に吊り込む。

③(戸当たり(M))と扉補強の隙間が4mm程度になる位置で(戸当たり(M))を固定してください。

扉後が吊り込みにくい場合は、一度戸車プレートを緩め、扉支持金具がついている側を上げ、反対側を下げてボルトを締め、吊り込んでください。

扉前が吊り込みにくい場合は、扉支持材のボルト(3か所)を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

扉フランチと戸当たり(M)が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり(M)を少し屋外側にずらして固定してください。

ワンポイント 調整ボルトをゆるめて庫内から扉を開めて扉が柱に沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

18 戸車上昇防止プレートの取付け

①(戸車上昇防止プレートAS)を上枠前ASに取付けます。(3か所) **1**

使用梱包	Lタイプ LM5-1704 Hタイプ LM5-1714
使用ボルト数	0本

戸車上昇防止プレートAS

注意 戸車上昇防止プレートASは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉を外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートASを外してください。

19 取手の取付け

①(取手)を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。

②扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。

使用梱包	Lタイプ LM5-1704 Hタイプ LM5-1714
使用ボルト数	0本

注意 取手を取付ける向きに注意してください。
※逆向きには取付かないようになっています。

左開口の場合 右開口の場合

取手、取手取付け材(扉裏側面)

②取手の固定

取手取付け材 矢印が図の位置に来るまで回転させてください。(時計まわりに約20°回転)

20 連動車の取付け

①扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)

②(連動車)のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。**1**

③(連動車)をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)

④扉後下部のボルト孔を塞ぎます。

使用梱包	Lタイプ LM5-1704 Hタイプ LM5-1714
使用ボルト数	4本

ワンポイント ローラー部分を押し下げると取付けし易くなります。

連動車、ボルト、扉後、扉前

注意 連動車には絶対に注油しないでください。連動しなくなります。

21 扉の建付け調整

①扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。

ワンポイント ボルトをゆるめて庫内から扉を開けて扉が柱に沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。

22 棚板の取付け

①(棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。

②(棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)

使用梱包	共通 LM5-1903
使用ボルト数	0本

棚柱、棚受-N左、棚受-N右、棚板、棚受-N左、棚受-N右

下のツメを差し込み角孔の下端まで棚受を押し下げます。

棚板の奥側のをせる

棚板の手前を差し込む

棚受-N左、棚受-N右(または棚受-N左)

注意 壁パネルには棚受は取付けできません。

23 その他の部品取付け

①扉裏面の注意・警告ラベルに機種名を記入します。

②屋根隙間隠しAを上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**

③下レールキャップを下枠前に取付けます。**2**

④鍵孔フサギを袖壁側の柱前に取付けます。**3**

屋根隙間隠しA、屋根隙間隠しB、上枠右、屋根隙間隠しA、重ね部、屋根隙間隠しA、屋根隙間隠しB、下レールキャップ、下枠前、鍵孔フサギ

扉裏面の「注意・警告ラベル」に機種名を記入してください。

扉が来ない方の柱前

鍵孔フサギ

◆錠操作方法について 取扱説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

①扉の建て付け調整ができているかご確認ください。

②鍵が正常に作動するかご確認ください。

③戸車上昇防止プレートASが取り付けられているかご確認ください。

④棚板の配置確認をしてください。

⑤機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)

⑥ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

○こんな時は

・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程171820)
・扉がスムーズに連動しない。	1.本体の建ちを確認してください。 2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程19)
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり(M)を調整してください。(工程17)

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(1825(H)・1829(H))

ヨドコウ

LMD-1825_KS_2025B